



# PX-8 PLUS

PEDAL SWITCHING SYSTEM

スイッチングシステム

取扱説明書

## 目次

---

### はじめに 4

### 各部機能 4

トップパネル

リアパネル

### 接続 5

電源

エフェクターループ

MIDI

### ご使用方法 5

プリセット・メソッド

モードセレクト

インスタントアクセスモード

プリセットの保存

プリセットの呼び出し

プリセットの使用しているループを確認するには

ループ・ストリップ・メソッド

MIDI を使ったプリセット

### セットアップ 7

【プリセット・メソッド】と【ループ・ストリップ・メソッド】の切替え

クワイエット・スイッチング

MIDI > メッセージタイプの選択

MIDI > チャンネルの設定

MIDI > コントロールチェンジナンバー

初期化

### 付属品 10

### 製品仕様 10

### 問い合わせ窓口 10

### 輸入販売元 11

# VOODOO LAB スイッチングシステム

## PX-8 Plus

### はじめに

---

Voodoo Lab PX-8 Plusは8ループのプログラマブル・スイッチャーでペダルボード上のエフェクターを自在にコントロールできるシステムです。ループの基本的な機能としてトゥルーバイパスが採用されており、使用していないケーブルの信号はシグナルパスに乗らないため、サウンドとダイナミクスレンジが劇的に改善します。直感的且つ、簡単に36のプリセットを組む事ができ、ボタン一つでプリセットを呼び出すことができます。PX-8 PlusのプリセットはMIDI対応のデジタルディレイやリバーブへコマンドを送る事も可能です。1986年の創立以来、Voodoo Labはギター周辺機器の電源とスイッチングシステム市場を牽引するリーディングカンパニーとしてプロフェッショナルのミュージシャンのために機材を作り続けてきました。全てのVoodoo Labの商品はアメリカカリフォルニア州のサンタ・ロサにてデザインされ高い品質基準で生産されています。

### 各部の機能

---

#### トップパネル



#### IA

【プリセット】と【インスタント・アクセス】モードの切り替え

#### SAVE

プリセットを保存する際、保存されるまでスイッチを押し込みます。

【プリセット】モード時（LEDが緑色の状態）：

**BANK** ↓ と ↑

1~9のバンクを選択します。

**A, B, C, D**

バンクを選択したらA, B, C, Dからプリセットを呼び出します。

【インスタント・アクセス】モード時（LEDが赤色）

**BANK** ↓ と ↑

ループへのアクセス。ループの1~4（Low）と5~8（High）を切り替えます。

**A, B, C, D**

ループのオン/オフ。

Low BankではA=1, B=2, C=3, D=4

High BankではA=5, B=6, C=7, D=8

## リアパネル



### **INPUT**

PX-8 Plusのインプット

### **LOOP 1~8 SEND**

エフェクターのインプットに繋がります。

### **LOOP 1~8 RETURN**

エフェクターのアウトプットに繋がります。

### **INSERT SEND / RETURN**

LOOP 6直後に位置するオプションのループ・アウトプットです。

### **OUTPUT**

PX-8 Plusのメインアウトプット

### **POWER**

消費電流100mA以上、AC9Vの電源を繋いでください。

### **MIDI IN**

MIDIのコマンドを受け、プリセットの呼び出しやループのオン/オフを可能にします。

### **MIDI OUT**

プログラムチェンジのコマンドをMIDI対応機器に送信します。

## 接続

---

### 電源

PX-8 Plusのパワージャックに9VDCの電源（センターマイナス2.1mm）を接続してください。電源の最小費電流は100mAです。

### エフェクターループ

PX-8 Plusは8系統のトゥルーバイパス、エフェクターループを設定できます。ループがオフの場合、ギター信号はオフになったループを飛び越えて次のループへ流れます。PX-8 Plusは使用されていないケーブルやエフェクターをバイパスするのでサウンドの劣化を最小限に抑えることができます。

全てのループは直列（シリーズ）で接続されています。ループ1のアウトプットはループ2のインプットへ、ループ2のアウトプットはループ3のインプットへ、と続いています。ループ6とループ7の間にオプションのループを差し込む事が可能です。ループ6のアウトプットをINSERT SENDに接続、INSERT RETURNをループ7のインプットに接続します。

パッチケーブルを使いそれぞれのループのSENDをエフェクターのインプットへ、エフェクターのアウトプットをループのRETURNに接続してください。

ギターをPX-8 PlusのINPUTに接続、そしてOUTPUTをご使用するアンプへ接続してください。

### MIDI

PX-8 Plusはプリセットの呼び出しやループのオン/オフなどのMIDIコマンドに対応します。プログラムチェンジやコントロールチェンジなどMIDI対応機器と併用することが可能です。

5ピンのMIDIケーブルを使いコントローラーのMIDIアウトプットとPX-8 PlusのMIDI INを接続してください。もしもう1台のMIDI対応機器を使用する場合はPX-8 PlusのMIDI OUTと2台目のMIDI機器を接続してください。

### ご使用方法

---

PX-8 Plusの【プリセット・メソッド】はエフェクターの組み合わせを36通りプリセット（記憶）でき、【インスタント・アクセス】モードで個々のループのオン/オフができます。

また、PX-8 Plusを【ループ・ストリップ・メソッド】としてもご利用いただけます。【ループ・ストリップ・メソッド】は短順に1～8のループに接続されたエフェクターのオン/オフを行なうトゥルーバイパスの接続として使用する方法です。

この2つのメソッドの切り替えは**セットアップ**（ページ7）の説明をご参照ください。

### **プリセット・メソッド**

プリセット・メソッドは2つのモード、【インスタント・アクセス】と【プリセット】モードを使います。

【インスタント・アクセス】モードは個々のループのオン/オフができ、【プリセット】モードはプリセットに保存したエフェクターの組み合わせを呼び出すことができます。

プリセットは36パターン保存でき、バンクの1～9まで各バンクに4パターンずつ保存が可能です。

### **モードセレクト**

IAスイッチを使って【インスタント・アクセス】か【プリセット】かモードを選択します。【インスタント・アクセス】の時にはLEDは赤く点灯します。【プリセット】の時は緑色に点灯します。

全てのLEDは赤か緑に点灯するので、一目で今どちらのモードを選択しているか見分ける事ができます。

### **インスタントアクセスモード**

BANKスイッチを使ってLow（ループ1～4）かHigh（ループ5～8）を選択します。ディスプレイウインドウが、“L”と表示されている時はA, B, C, Dのスイッチがループ1～4に該当します。一方、“H”と表示されている場合はA～Dのスイッチが5～8に該当します。

### **プリセットの保存**

現状の設定をプリセットとして保存するには：

1. LEDが点滅するまで、“SAVE”スイッチを押し込んだ状態にしてください。
2. “↑”スイッチと“↓”スイッチを使ってバンクを選択します。
3. バンクを選択した後、保存したいスイッチA, B, C, Dスイッチのいずれかを押ししてください。

上記保存の作業をはじめから行ないたい場合は、“SAVE”スイッチを押ししてください。

## プリセットの呼び出し

保存されたプリセットを呼び出すには、“↑”と“↓”スイッチを使ってバンクを選択し、A, B, C, Dのいずれかのスイッチを押す事で呼び出すことができます。選択されたプリセットのLEDが緑に点灯した後、1~8の使用されているループのLEDが赤く点灯します。プリセットの呼び出し時に押したスイッチを放せば使用するプリセットのLEDのみ緑色の点灯が続きます。

## プリセットを使用しているループの確認

プリセットを呼び出した後にどのループを使用しているか確認する事ができます。A~Dの選択したプリセットのスイッチを押し込んでください。押し込んでいる間ループ1~8のLEDが赤く点灯します。

## ループ・ストリップ・メソッド

PX-8 Plusは単純なトゥルーバイパスのループスイッチャーとしての使い方です。

1~8のスイッチはループのオン/オフとして使用します。ループがオフになっている状態では、ギター信号が次のループにスキップされ、サウンドの劣化を防ぎます。

## MIDIを使ったプリセット

ループ・ストリップ・メソッドでは128パターンのループの組み合わせを保存、呼び出しができます。この機能を使うにはMIDIコントローラー、もしくはMIDIのプログラムチェンジメッセージを送る機能が搭載されたエフェクターが必要です。詳しくは**セットアップのMIDI > メッセージタイプ**の**選択**（ページ8）をご参照ください。

以下の手順に沿ってプリセットを保存してください。

1. MIDIのプログラムチェンジメッセージをPX8 Plusに送信してください。
2. 1~8のPX-8 Plusのスイッチを使って保存したいプリセットのループを選択してください。
3. 1と6のスイッチを同時に押してプリセットを保存します。全てのLEDが点滅したら保存は終了です。

同じMIDIのプログラムチェンジメッセージをPX-8 Plusに送信する事でプリセットを呼び出すことができます。

## セットアップ

---

### 【プリセット・メソッド】と【ループ・ストリップ・メソッド】の切り替え

この2つのオペレーション方法を切り替えるには：

- 1) 5のスイッチを押し込んだまま、電源を入れてください。ボタンを放すまでLEDが点滅を続けます。
- 2) 5のスイッチを使ってオペレーション方法を選択します。5のLEDが緑色であれば【プリセット・メソッド】、赤色であれば【ループ・ストリップ・メソッド】が選択されています。
- 3) ご希望のメソッドを選択したら、電源を切ってください。

### クワイエット・スイッチング

PX-8 Plusにはクリック音を消す機能が搭載されています。

リレー式のスイッチは、特に高いゲイン設定の時にクリック音が発生する事があります。

そのクリック音を削除するために、PX-8 Plusはスイッチが押された瞬間のみ数ミリ秒ほどメインの出力を遮断する機能を搭載しています。出力が遮断される時間（インターバル）は非常に短いため出力や音量落ちを感じる事はありません。それでもクリック音が気になる場合は、インターバルを長めに設定する事も可能です。同時にクワイエット・スイッチングの機能をオフにする事もできます。ファクトリーセッティングでは短いインターバルに設定されています。

クワイエット・スイッチングを設定するには：

- 1) 4のスイッチを押し込んだまま、電源を入れてください。ボタンを放すまでLEDが点滅を続けます。
- 2) 1と2のスイッチを使い、クワイエット・スイッチングを設定してください。

クワイエット・スイッチング	インターバル	スイッチ2のLED	スイッチ1のLED
オフ	なし	オフ	オフ
オン	ショート	オフ	オン
オン	ロング	オン	オン

- 3) ご希望の設定を選択したら、電源を切ってください。

### MIDI > メッセージタイプの選択

PX-8 PlusはMIDIのプログラムチェンジ（PC）やコントロールチェンジ（CC）に対応する、その両方に対応する、もしくは対応しない、の設定ができます。

ファクトリーセッティングではPCとCCは共に非対応となっています。

- 1) 1のスイッチを押し込んだまま、電源を入れてください。ボタンを放すまでLEDが点滅を続けます。
- 2) 1と2のスイッチを使いメッセージタイプを選択してください。

MIDI メッセージタイプ	スイッチ2のLED	スイッチ1のLED
なし	オフ	オフ
PCのみ	オフ	オン
CCのみ	オン	オフ
PCとCC両方	オン	オン



3) ご希望の設定を選択したら、電源を切ってください。

### **MIDI > チャンネルの設定**

MIDIのプログラムチェンジとコントロールチェンジには1~16のチャンネルナンバーが含まれます。

PX-8 Plusは特定のチャンネルから送られたメッセージのみに対応します。

ファクトリーセッティングのMIDIチャンネルは1です。

1) 2のスイッチを押し込んだまま、電源を入れてください。 ボタンを放すまでLEDが点滅を続けます。

2) 1~4のスイッチを使いメッセージタイプを選択してください。

<b>MIDIチャンネル</b>	<b>スイッチ4のLED</b>	<b>スイッチ3のLED</b>	<b>スイッチ2のLED</b>	<b>スイッチ1のLED</b>
1	オフ	オフ	オフ	オフ
2	オフ	オフ	オフ	オン
3	オフ	オフ	オン	オフ
4	オフ	オフ	オン	オン
5	オフ	オン	オフ	オフ
6	オフ	オン	オフ	オン
7	オフ	オン	オン	オフ
8	オフ	オン	オン	オン
9	オン	オフ	オフ	オフ
10	オン	オフ	オフ	オン
11	オン	オフ	オン	オフ
12	オン	オフ	オン	オン
13	オン	オン	オフ	オフ
14	オン	オン	オフ	オン
15	オン	オン	オン	オフ
16	オン	オン	オン	オン

3) ご希望の設定を選択したら、電源を切ってください。

### **MIDI > コントロールチェンジナンバー**

MIDIコントロールチェンジ (CC) のメッセージはPX-8 Plusのループをオン/オフするコントローラーナンバーを含みます。 4つのCCグループ番号から選択が可能です。 ファクトリーセッティングのグループは80~87で、80はループ1をコントロールし、81はループ2、82はループ3、83はループ4、84はループ5、85はループ6、86はループ7、そして87はループ8をコントロールします。 以下はPX-8 Plusが反応するCC番号の設定方法です。

- 1) 3のスイッチを押し込んだまま、電源を入れてください。 ボタンを放すまでLEDが点滅を続けます。
- 2) 1~4のスイッチを使いメッセージタイプを選択してください。

CCグループ	スイッチ4のLED	スイッチ3のLED	スイッチ2のLED	スイッチ1のLED
80~87	オフ	オフ	オフ	オン
88~95	オフ	オフ	オン	オフ
64~71	オフ	オン	オフ	オフ
56~63	オン	オフ	オフ	オフ

- 3) ご希望の設定を選択したら、電源を切ってください。

### 初期化

PX-8 Plusは保存されたプリセットを全て消去し、ファクトリーセッティングに初期化することができます。

- 1) 2と3のスイッチを押し込んだまま、電源を入れてください。 ボタンを放すまでLEDが点滅を続けます。
- 2) 1のLEDが点灯するので1のスイッチを押してください。
- 3) 続いて2~8のLEDが点灯するので順に点灯したスイッチを押してください。
- 4) LEDが3度点滅し、消灯します。 そして電源を切ってください。

### 付属品

---

ツアーグレード・ギグバッグ : 635 x 470 x 178mm, 1.63kg

Pedal Power 用マウンティング・ブラケット (1 セット)

エフェクターマウント用マジックテープ (オス1、メス1)

結束バンド

結束バンド固定マウント

### 製品仕様

---

本体サイズ : 幅 546 x 奥行 76 x 高 51 mm

本体重量 : 1.15kg

生産国 : アメリカ合衆国

### 製品の取扱に関するお問い合わせ先

お客様コミュニケーションセンター ギター・ドラムご相談窓口

営業時間：月～金曜日 10：00～17：00（土/日曜日・センター指定日除く）

[TEL:0570-056-808（ナビダイヤル）](tel:0570-056-808) または [053-533-5003](tel:053-533-5003)

URL：<https://jp.yamaha.com/support/>

※都合により、電話番号、名称、営業時間など変更になる場合がございます。

### 修理に関するお問い合わせ先

ヤマハ修理ご相談センター

営業時間：月～金曜日 10：00～17：00（土/日曜日・センター指定日除く）

[TEL:0570-012-808（ナビダイヤル）](tel:0570-012-808) または [053-460-4830](tel:053-460-4830)

### 輸入販売元

株式会社ヤマハミュージックジャパン LM営業部輸入商品課

〒108-8568 東京都港区高輪2-17-11 TEL:03-5488-5445